

# 京都府北部のMALUI連携と「まるまる舞鶴」

東 昇

## 1 ACTR事業の概要

2022・2023年度の2年間、京都府立大学文学部歴史学科文化情報学研究室では、地域貢献型特別研究費（ACTR）「京都府北部のMALUI連携による文化資源を活かした地域づくり」（研究代表者：東昇）の事業を実施した。舞鶴市に関するACTRは2013年以来、多様なテーマ提案を受け11年間継続している。

このテーマは、ACTR申請時には、舞鶴地方史研究会、福知山市文化・スポーツ振興課、京都府立丹後郷土資料館の研究テーマ提案によるものであった。2023年11月には舞鶴市と京都府立大学文学部が「MALUI連携に関する覚書」を交わし、舞鶴市・舞鶴市郷土資料館・舞鶴市史編纂におけるデータ活用について協力することとなり、現在、舞鶴市・福知山市・京都府、舞鶴地方史研究会と連携している。

MALUI連携とは、M（博物館）A（文書館）L（図書館）U（大学）I（企業・産業）の頭文字をとったもので、個別に存在する各機関の連携を促進し、情報を集約、文化資源の共有化により、地域づくりに新たな循環を作り出そうとする事業である。具体的には、MALUI連携による①福知山・舞鶴の文化資源データ作成、②情報連携WEB「まるまる舞鶴」企画・公開である。

## 2 MALUI連携による福知山・舞鶴の文化資源データ作成

- ・舞鶴市 - 舞鶴市郷土資料館、舞鶴地方史研究会と、古文書共同調査を実施した。木船衛門家文書9022点を調査し目録作成・写真撮影を行いデータ化し、2024年3月本報告書を刊行した。また、舞鶴市郷土資料館所蔵文書を調査し、目録作成・写真撮影を実施した。
- ・福知山市 - 福知山城天守閣所蔵の福知山市史編さん資料を整理した。254件21万コマの古文書画像1点ごとの目録を作成し、検索・利用可能なデータ化を進めている。
- ・福知山高校・附属中学校 - 高校所蔵の古文書の調査、撮影、2023年12月16日土曜講座「古文書調査体験講座」を実施、卒業生である府大生も参加し同窓生との交流を行う。
- ・京都府立丹後郷土資料館 - 館所蔵の伊根町漁業関連史料を調査した。
- ・文化庁地域連携交流会 - 2023年12月17日、舞鶴市西公民館、文化財第一課書跡・典籍、古文書部門の藤田励夫主任調査官から文化財指定業務全体、岡村一幸調査官から選定保存技術・原料、青木貴史調査官から文化財の防災について報告。舞鶴市、郷土資料館、京都府、丹後郷土資料館の学芸員・職員、舞鶴地方史研究会会員、府大の院生・学生と意見交換を行った。
- ・成果報告 - 2023年2月18日、舞鶴地方史研究会2月例会、舞鶴市西公民館、報告「舞鶴歴史データの公開 MALUI連携WEB」、同年3月6日、文化庁京都移転記念フォーラム、京都府立京都学歴彩館、文学部主催、報告「大学教育と文化財の保護・活用」

### 3 情報連携 WEB「まるまる舞鶴」企画・公開

「まるまる舞鶴」は、2022 年度企画・制作を行い、2023 年 4 月に公開した。WEB サイト制作に関しては、福島幸宏（慶応大学文学部准教授、ACTR 分担者）、国立国会図書館のジャパンサーチの開発に 2018 年から関わっているサイフォン合同会社の協力を得ている（図）。

本 WEB には、舞鶴地方史研究会、舞鶴市郷土資料館、舞鶴山城研究会、京都府立大学が協力し、各機関・団体がこれまで作成した刊行物など、舞鶴地域の文化資源データを収録した。ブログ形式でコンテンツを作成し、公開段階の WEB の内容は次の通りである。

- ①「コレクション」-『舞鶴市史』の年表や近代史料の CSV・テキストデータをダウンロード可能。
- ②「コラム」-各史料・テーマをわかりやすく紹介したコラムを中心に、『舞鶴地方史研究』（舞鶴地方史研究会）、『文化遺産叢書』（京都府立大学）、『舞鶴の山城』（舞鶴山城研究会）、近世近代の町村別の年表や明治 15 年（1882）「郡村誌」情報を収録。
- ③「舞鶴市史カレンダー」-『舞鶴市史 年表編』の全データ（約 3800 件）から、その日に起こった出来事を毎日更新。
- ④「歴史の人物」-舞鶴の歴史上の人物の概略を紹介。
- ⑤ X（旧 Twitter）-「# まるまる舞鶴今日は何の日」「# 太郎左衛門のつぶやき」を毎日更新。

2023 年度は「まるまる舞鶴」の不具合を改修し、「地図検索」を追加した。この検索では①近世の大庄屋組 8 区分、②明治 22 年発足した町村 25 区分、③現在の小学校区 18 区分の 3 種類の地図から該当する地域のコラムが閲覧可能となった。

また、東舞鶴高校において、2023 年 11 月、2024 年 2 月 MALUI 連携授業を実施。詳細は渡邊幸奈「京都府立東舞鶴高校における連携授業「古写真から見る近代の舞鶴」」に詳しい。

また、各事業の詳しい内容については、以下の関連記事を参照されたい。

- ・長谷川巴南「京都府北部の MALUI 連携による WEB 公開事業」、井上泰良「舞鶴市木船家文書調査」（『京都府立大学文学部歴史学科フィールド調査集報』9、2023）
- ・長谷川巴南「京都府北部 MALUI 連携事業」、小島慧音「舞鶴市木船家文書・郷土資料館所蔵文書調査」、小原万侑「京都府立東舞鶴高校連携授業」、渡部凌空「福知山市 MALUI 連携事業」（『京都府立大学文学部歴史学科フィールド調査集報』10、2024）



図 まるまる舞鶴 WEB